

地域の交通を持続的に維持するために(Ⅲ)

日時：11月19日（火）16:50-18:35

場所：国際学術総合研究棟12階 1219

公共政策大学院では、「地域交通政策研究」の授業において、下記のとおり、北海道旅客鉄道株式会社取締役副社長 小山俊幸氏からお話を伺います。

昨年は、平成28年11月に発表した「当社単独では維持困難な線区」についてその概要と地域協議等の状況について報告し、有意義なご意見をいただきました。

本講においては、その後の地域協議等の状況について、特に本年3月末でバス転換した石勝線新夕張・夕張間の状況や来年5月のバス転換に合意した札沼線北海道医療大学・新十津川間の取組みについて報告するとともに、利用が少なく鉄道を持続的に維持する仕組みの構築が必要な8線区について、この2年間で北海道旅客鉄道株式会社と地域の関係者が利用促進や経費節減に取り組む「アクションプラン」の取組状況について報告します。併せて、本年4月に発表した長期経営ビジョン「未来2031」等を踏まえ、北海道旅客鉄道株式会社の経営再生に向けた課題・見通しと、持続可能な交通体系の構築に向けた今後の地域協議の方向性について考察します。

履修登録学生以外の本学学生の聴講も歓迎しますので、聴講を希望する学生は直接教室に参集願います。

(使用言語：日本語、本学学生以外の一般の方は参加出来ません。ご注意下さい)。

一問い合わせ：交通・観光政策研究ユニット ttpu@pp.u-tokyo.ac.jp



北海道
旅客鉄道株式会社
副社長

小山俊幸 氏